

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	グループホームかもが地域の方に気軽に立ち寄って頂けるよう、地域住民や関係者との関わりをさらに深くする必要があります。	地域との馴染みの関係づくりができる。	地域の方へ、広報誌を活用し、事業所の理解を得る。また、行事予定をお知らせし、地域の方が気軽に参加、見学に来ていただけるようにする。行事を企画し地域のボランティア、町内の保育所等の交流を継続していく。	12ヶ月
2	33	重度化、看取りに対応するために、職員の技術、知識の向上が求められる。	チームで支援の方針を共有し、終末期ケアが家族と共に安心して行う事ができる。	外部研修への参加、内部での勉強会を実施していく。看取りケアマニュアルに基づいて、支援の方法等を職員は共有する。	12ヶ月
3	35	水害等の災害時には地域との連携、協力により避難誘導を行う事にはなっているが、具体的な手段が共有できていない。	地域との連携により、火災や地震、水害時の避難ができるよう安心安全なケアの構築ができる。	災害時の避難訓練が地域の方と共同で行えるよう、参加協力を依頼する。特に水害時による避難手段は町内会長と具体化していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。